令和５年７月２５日

第２学年の保護者の皆様

苫小牧市立明倫中学校長　池田　健人

令和５年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、４月１８日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

１　検査の概要

（１）実施日

令和５年４月１８日（火）

（２）調査対象

市内中学校第２学年

（３）検査内容等

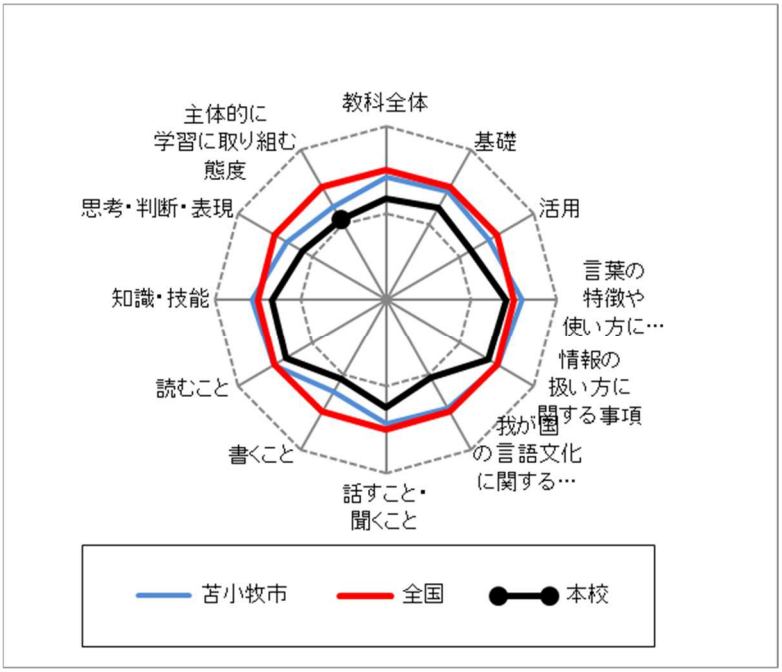
① 国語科及び数学科の２教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）

② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

２　本校の結果と考察

（１）国語科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を５０とした場合の標準スコアで比較）



②考察

【全体的な結果について】

・すべての項目で全国平均および苫小牧市の平均を下回っている。

・基礎・応用ともに苫小牧市の平均より数ポイント下回っており、日ごろの学習の総点検を実施する必要がある。

・各項目では「我が国の言語文化に関する事項」が特に低く、学習の組み立てが急務である。

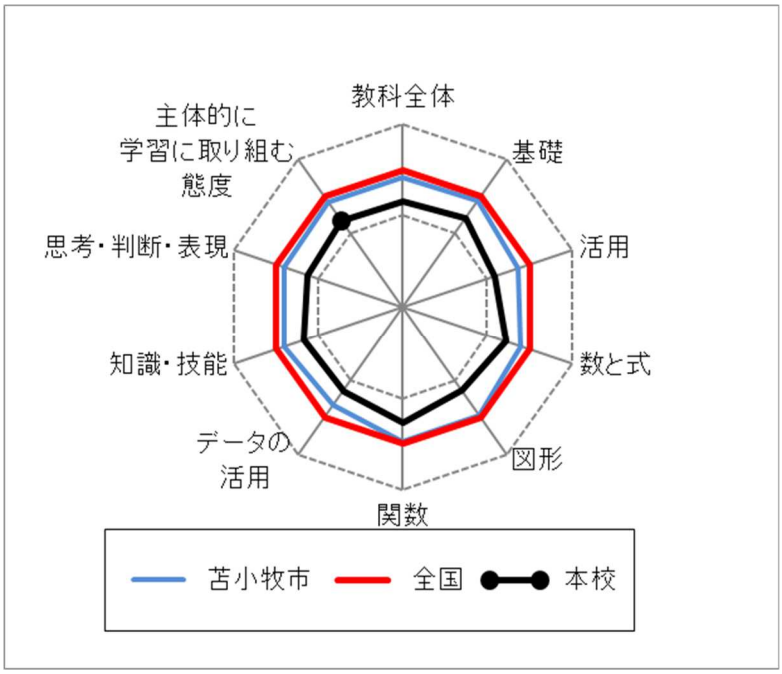
【今後の方策】

・国語科の学習では読み・書きに加え、表現する能力の向上を図り、引き続き学力向上に努める。

・言葉の特徴や使い方の事項や情報の扱い方に関する事項では基礎知識が備わっていることから、今後、基礎・基本事項の応用力強化に力を入れていく。

（２）数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を５０とした場合の標準スコアで比較）



②考察

【全体的な結果について】

・すべての項目で全国平均、苫小牧市の平均を大きく下回っている。

・基礎事項や応用分野においては特に課題があると思われる。

・関数事項および数と式事項については昨年に比べ上昇傾向にある。

【今後の方策】

・数学科において、小学校で習った内容と関連付けて、基礎・基本事項の習得を重点的に取り組む。

・図形分野にについて、視覚教材を活用しつつ、不得意生徒の底上げに重点を絞って学習を進めていく。